

ら3年継続で工芸品のうち、漆工品、木工品及び竹工品について調査を行ってきたが、本年度はこの報告書を刊行した。

第1次調査件数 1,170件

第2次調査件数 94件

報告書収録件数 1,050件

○調査員 県文化財保護審議会委員 高瀬喜左衛門
同 菊池 貴晴
会津若松市文化財調査委員 山内 清司

④ 各地方言収集緊急調査

近年のマスコミュニケーションの急速な発達によって方言は全国的に変化し、失われつつある。

方言は、日本語の古い姿を残すとともに、地方の民俗や風土に密着して成立したものだけに、高い文化的価値を有している。

このため、昭和56年度から3年継続で調査を行っている。

○調査内容 次の区分により収録し、文字化して共通語訳と注釈をつける。

2年次 目上の者と目下の者との会話(男性)

老年層の女性の対話

○調査地区 福島市、会津高田町、昭和村、相馬市、いわき市 5地区

○調査員 主任調査員 福島大学教授 菅野 宏
調査員 福島大学助教授 渡辺 義夫
地区調査員 会津高田町 大越 大雄
同 昭和村 皆川伝三郎
同 相馬市 松本 敬信
同 いわき市 和田 文夫

⑤ 歴史の道保存調査

古くから文物や人々の交流の舞台となってきた道・水路は、我が国の歴史を理解する上で極めて大切な意味をもつものである。このため、本年度から3ヵ年計画で、県内の「歴史の道」ともいうべき江戸時代以前の古い道河川等と、それに沿う地域に残されている歴史的遺産を周囲の環境を含めて、総合的かつ体系的に調査を行っている。

○調査期間 昭和57年度～昭和59年度

○調査件数 3ヵ年で20件程度

「歴史の道」調査候補一覧表

昭和57年度調査	番号	街道名(仮称)	概算距離km	区 間	参 考
○	1	奥州道中	120	白坂—白河—郡山—福島—貝田(仙台方面へ)	奥州諸大名参勤交代の道
	2	浜街道	120	酒井—窪田—平—小高—相馬—新地(仙台方面へ)	浜通りの主要街道
○	3	米沢街道	30	八丁目(松川)—平田—大森—庭坂(米沢へ)	羽州街道の脇街道
○	4	羽州街道	10	桑折—小坂—小坂峠(山形・秋田方面へ)	出羽国の大名道
	5	水戸街道	61	矢吹—棚倉—東館(矢祭)(水戸・常陸太田方面へ)	古代文化伝播の道
	6	中村街道	60	福島—掛田—東玉野—中村(相馬)	相馬藩と中通りを結ぶ道
○	7	相馬街道	66	本宮—針道—比曾—飯樋—草野—中村	中通りへの塩の道
	8	磐城街道	70	本郡—宮山>三春—船引—小野—平	いわき地方と中通り物資交流の道
	9	御斎所街道	(67) 37	(須賀川)竹貫(古殿)—皿貝—常磐湯本	石川・いわき地方を結ぶ主要道
	10	白河街道	80	若松<背炎峠 滝沢峠>福良—勢至堂峠—白河	会津藩主参勤交代路
	11	南山通り	64	若松—福永(本郷)—大内—田島—糸沢(今市方面)	参勤交代と仲付駕者の道
○	12	二本松街道	53	若松<大寺 滝沢峠>猪苗代—揚枝峠—本宮—二本松	会津への物資流入路
	13	福島街道	77	若松—猪苗代—酸川野—土湯峠—福島	近世に開発された道
	14	米沢街道	47	若松—塩川—熊倉—大塩—桧原—桧原峠(米沢へ)	伊達政宗会津侵入の道
	15	越後街道	43	若松—坂下—塔寺—鐘撞堂峠—野沢(津川・新潟方面へ)	越後からの塩の道